



Hello! Bonjour! カナダの生活あるある EX版

皆さんこんにちは！国際交流員のメリーです。広報ほっと京たなべ平成30年3月号のコラム「Hello! Bonjour! カナダの生活あるある」でカナダの多民族・多文化社会のことを紹介しました。今回はカナダ人に元々の出身地やルーツについて確認する方法を紹介します。カナダに暮らす民族は200以上あります。そのうちヨーロッパ及び北米系白人は約80%、アジア系は約8%、先住民は約4%、アフリカ等は約3%です。つまりカナダ人は外見からその人の出身地やルーツ、文化等を判断することができません。その上、Where are you from? (ご出身はどこですか?) と直接聞くと相手にとって、失礼な言葉になるかもしれません。

Where are you from? (×)



カナダは多民族国家なので、例えば父親がドイツから移民してきたとか、自分が小さいときに親と一緒にこの国にやってきたとか、そういった人が多いです。

この Where are you from? (ご出身はどこですか?) という言い方は、そういった人たちに対し、暗に「あなたは生粋のカナダ人ではありません (それは、アクセントとかしゃべり方から感じられる)」という風に相手を卑下する意味に聞こえることもあります。

I am Canadian (私はカナダ人です) と答えることもできたかもしれません。カナダ人は日常生活において自分の外見や文化が他人と違うことについて意識していません。カナダで生まれ、カナダで育ち、カナダに住んでいることから自分はカナダ人と考える人は多いです。

Where is your family originally from? (○)



一方、Where is your family originally from? (ご家族はもともとどこから来られたのですか) と聞くことはカナダ人にとって失礼ではありません。相手も明らかに自分の家族や先祖のことについて聞かれていると分かることから丁寧に答えてくれます。初対面でも良い話題になる場合も多いです。

この質問は相手自身のことを聞くだけでなく、相手の家族への関心の意味も含まれており、聞き手であるカナダ人にとって、良い印象を与えることになります。

